



オッズ比 OR (ExpB)



オッズ比（OR）は、2つの事象のオッズ（勝率）を比較した値で、以下の式で表されます。

$$OR = (A/B) / (C/D) = AD/BC$$

ここで、Aは「第1のグループで事象が起こった回数」、Bは「第1のグループで事象が起こらなかった回数」、Cは「第2のグループで事象が起こった回数」、Dは「第2のグループで事象が起こらなかった回数」を表します。

オッズ比の値が1より大きい場合、第1のグループが第2のグループよりも事象の発生率が高いことを示します。逆に、オッズ比の値が1より小さい場合、第2のグループが第1のグループよりも事象の発生率が高いことを示します。オッズ比の値が1の場合、2つのグループで事象の発生率が同じであることを示します。

また、オッズ比の自然対数をとった値（ExpB）は、以下のように表されます。

$$ExpB = \ln(OR)$$

この値は、2つのグループの事象発生率の差を表す指標として使用されます。ExpBの値が正である場合、第1のグループの事象発生率が高いことを示し、負である場合は第2のグループの事象発生率が高いことを示します。ExpBの値が0である場合、2つのグループの事象発生率が同じであることを示します。

